

# いわみざわ 市議会だより



表紙は 教育大学岩見沢校

早瀬 星優さんの作品

## 今号の主な内容

■審議結果	2
■代表質問	4
■一般質問	8
■質問項目一覧	9
■予算審査特別委員会	9
■新型コロナウイルス感染症に対する 議会の対応について	10
■編集後記	10

# 令和2年第1回定例会（3月2日▶3月24日）

## 審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第1号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第2号	岩見沢市手数料条例の一部改正について	〃
議案第3号	岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第4号	岩見沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第5号	岩見沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第6号	岩見沢市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について	〃
議案第7号	岩見沢市在宅老人デイ・サービスセンター条例の一部改正について	〃
議案第8号	岩見沢市国民健康保険条例の一部改正について	〃
議案第9号	岩見沢市介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正について	〃
議案第10号	岩見沢市公設卸売市場条例の一部改正について	〃
議案第11号	岩見沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正について	〃
議案第12号	岩見沢市道路占用料条例の一部改正について	〃
議案第13号	岩見沢市営住宅管理条例の一部改正について	〃
議案第14号	岩見沢市し尿処理施設条例の廃止について	〃
議案第15号	桂沢水道企業団規約の変更に関する協議について	〃
議案第16号	議決の変更について(栗沢デイ・サービスセンター及び美流渡デイ・サービスセンターの指定管理者の指定について)	〃
議案第17号	議決の変更について(岩見沢市栗沢文化センターの指定管理者の指定について)	〃
議案第18号	令和2年度岩見沢市一般会計予算について	〃
議案第19号	令和2年度岩見沢市特別会計国民健康保険費予算について	〃
議案第20号	令和2年度岩見沢市特別会計公共用地等造成費予算について	〃
議案第21号	令和2年度岩見沢市特別会計公設卸売市場費予算について	〃
議案第22号	令和2年度岩見沢市特別会計高等学校費予算について	〃
議案第23号	令和2年度岩見沢市特別会計企業用地造成費予算について	〃
議案第24号	令和2年度岩見沢市特別会計農業集落排水事業費予算について	〃
議案第25号	令和2年度岩見沢市特別会計介護保険費予算について	〃
議案第26号	令和2年度岩見沢市特別会計後期高齢者医療費予算について	〃
議案第27号	令和2年度岩見沢市病院事業会計予算について	〃
議案第28号	令和2年度岩見沢市水道事業会計予算について	〃
議案第29号	令和2年度岩見沢市下水道事業会計予算について	〃
議案第30号	財産の取得について	〃
議案第31号	市道路線の認定及び廃止について	〃
議案第32号	令和元年度岩見沢市一般会計補正予算について(第5号)	〃
議案第33号	令和元年度岩見沢市特別会計高等学校費補正予算について(第2号)	〃
議案第34号	令和元年度岩見沢市特別会計農業集落排水事業費補正予算について(第1号)	〃

審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第 35 号	令和元年度岩見沢市特別会計介護保険費補正予算について(第 2 号)	原案可決
議案第 36 号	令和元年度岩見沢市一般会計補正予算について(第 6 号)	〃
議案第 37 号	令和元年度岩見沢市特別会計高等学校費補正予算について(第 3 号)	〃
議案第 38 号	副市長の選任について【鈴木 邦明氏】	同意
議案第 39 号	監査委員会の委員の選任について【村上 勝則氏】	〃
意見書案第 1 号	新型コロナウイルス感染症対策について	原案可決
意見書案第 2 号	新たな過疎対策法の制定について	〃
決議案第 1 号	閉会中の所管事務調査について	〃
決議案第 2 号	民族共生の未来を切り開くことについて	〃

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第 1 回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配布されました。

- 小規模企業振興対策予算の拡充に関する意見・要望について
- 令和 2 年度税制改正に関する要望について
- 令和 2 年度税制改正に関する提言について
- 「子どもの医療費無料化制度の拡充」を求める道への意見書の提出について
- 再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書採択について
- 生活保護収入認定等について
- 日本国憲法の尊重・擁護について
- 北海道教育委員会へ『教員の「1 年単位の変形労働時間制」の条例制定をしないで下さい』の意見書の提出について

各議員の議案に対する賛否の状況 (賛否の分かれたもの)

議案名	会派名		市民クラブ								政和会				公明	共産	み							
	議員名		伊澤幸信	豊岡義博	峯泰教	平野義文	大坂龍起	太田博之	木村光宏	越戸正樹	篠原藤雄	武田貞行	増山宣之	宮下透	古石英仁	池島和行	日向清一	野尻清	石黒武美	齊須正友	猪口満雅	上田久司	山田靖廣	河合清秀
議 3) 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議 7) 岩見沢市在宅老人デイ・サービスセンター条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議 8) 岩見沢市国民健康保険条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議 18) 令和 2 年度岩見沢市一般会計予算について			○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議 19) 令和 2 年度岩見沢市特別会計国民健康保険費予算について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議 26) 令和 2 年度岩見沢市特別会計後期高齢者医療費予算について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議 32) 令和元年度岩見沢市一般会計補正予算について(第 5 号)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

・表決 (賛成=○ 反対=×) ・会派名 (公明=公明党 共産=日本共産党議員団 み=みどりの会)



市民クラブ  
伊澤 幸信

**「みんなが健康で元気に暮らせるまちづくり」について**

市立総合病院の取り組み方について  
——南空知の中核病院として、近隣自治体との協議・調整・連携をどうするか

【市長】市立総合病院は、南空知医療圏における地域センター病院として、高度な医療を提供し、二次救急医療機関として、本圏域の中心的役割を果たしている。

病院数の減少により医療提供体制の低下が懸念される中、人口減少が進む一方、当市の占める人口の割合は増加することが見込まれており、現在も圏域内の他の自治体から市内の医療機関を受療していることから、本圏域の持続可能な地域医療を確保していくためには、急性期及び救急医療を中核的に提供している総合病院の機能維持・強化が重要なポイントであると考えている。

新病院について、将来にわたって本圏域の医療ネットワークシステムの中心として地域医療を牽引していくため、新病院建設事業の推進は、圏域内の自治体を初め、「南空知地域医療構想調整会議」等の場において必要な協議・調整を行うとともに、道庁や空知総合振興局と連携を図り、その取り組みを進めていく。

**「豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進」について**

①「ふるさと教育」について

——岩見沢市として特色ある教育を目指しては

【教育長】教育委員会は、子供たちがふるさとに愛着を持ち、岩見沢で生まれ育ったことに誇りを持つてよう「ふるさと教育」を推進している。

令和元年度は、市内全ての小中学校において、生活科並びに社会科を中心とした各教科、総合的な学習の時間、道徳科で実施している。

具体的な内容は、市民憲章からまちづくりへの想いを学ぶ学習、炭鉄港の取り組みから岩見沢の歴史を学ぶ学習、将来の主権者としての意識を高めながらまちづくりを学ぶ学習、地域の人材を講師とした学習など、

岩見沢の人・歴史・文化・自然を取り上げている。

特徴的な内容として、小学校では、百餅祭りのCMを作成する学習や「まちあそび人生ゲーム」の企画への参加、中学校では、主権者教育として模擬議会を実施し、岩見沢に住みよいまちにするための提案を生徒が市議会議場で発表するなど、各学校が特色ある学習を進めている。

②ピア・サポートの取組みについて

——自尊心や自己有用感の育成と他人を思いやる心の育成

ピアは仲間、サポートは支えるという意味があり、思いやりの気持ちで相手の話を聞き、一緒に考えたり、違う意見も受け入れることで、子供たちが安心感を持って生活できる学級や学校にしていく取り組み。

ピア・サポートの授業は、自分自身を理解し、他者を理解すること、コミュニケーションスキル、問題を解決するスキル、人との対立を解消するスキルなどを身につけるプログラムで構成されている。

岩見沢市の小中学校においては、年間4時間から7時間のピア・サポートの授業に加え、各教科の授業や学級活動、道徳科などの話し合い

の場面などで、ピア・サポートを意図的・計画的に展開している。

ピア・サポート・プログラムが子供たちに浸透し、成果を上げている中学校では、全国学力・学習状況調査において自尊心や自己有用感が高まったという結果が出ており、この学年では、全国学力調査においても全国の平均正答率を超える成果を上げている。

さらに、教師の傾聴・受容・共感の意識を高め、生徒と教師の良好な関係づくりに寄与することが生徒アンケートから明らかとなっている。

令和2年度も、ピア・サポートを市内の小中学校で系統的に実践することにより、子供たちの自尊心や自己肯定感を高め、他者を思いやり主体的に生きる力を育んでいく。

録画映像を  
YouTubeで  
公開しています

代表質問：伊澤議員



和 会  
石 黒 武 美

**地域で支え合う安全・  
安心なまちづくりについて**

ICTを活用した除排雪について  
—— 農業用GPSガイダンス装置を  
活用した雪割り作業が、未除雪路線  
の全線で実施できたのか、もしくは  
できる見込みなのか

【市長】 今年度は、全ての市道のデー  
タ整備を終え、未除雪路線の雪割り  
作業に当たる除雪機械16台にGPS  
ガイダンス装置を搭載し、全延長133  
キロメートルの作業を完了した。

除雪オペレーターの担い手不足へ  
の対策として、ICT活用は有効な  
手段の一つであり、当市のすぐれた  
ICT環境を生かし、雪割り作業以  
外の業務にも拡充していきたい。

**新型コロナウイルス  
感染症への対応について**

① 感染拡大防止策について  
【市長】 「新型コロナウイルス感染症

対策本部」を立ち上げ、感染症の拡  
大防止に向けて取り組んでいる。  
注意喚起に努めたほか、窓口手続  
の一部を郵送により扱う対応なども  
行っている。

また、集団感染の発生を防ぐため、  
市主催のイベント等の中止・延期に  
加え、不特定多数の人が利用する施  
設等を休止としている。

臨時休校に伴い、ひとり親家庭を  
支援するため、無利子の生活資金貸  
付制度の創設や、児童扶養手当、母  
子家庭等高等職業訓練促進給付金の  
支給日を早めたほか、事業所に有給  
休暇対応等の配慮をお願いした。

また、消毒剤生成装置を新たに導  
入し、各施設の消毒の徹底している。  
このほか、「災害対策資金」の融  
資要件に「新型コロナウイルスの影  
響で売上高が減少した中小企業者」  
を加え、「特別経営相談窓口」を設  
置し、中小企業を支援するとともに、  
市内経済への影響や今後の支援策等  
の検討に向けた調査をしている。

公共施設使用をキャンセルした場  
合、特例措置として2月22日以降の  
予約分から使用料を返金している。

② 子どもの安全と安心の確保  
【教育長】 臨時休校措置については、

児童生徒への感染及び感染拡大を防  
ぐため、2月27日から休校とし、内  
閣総理大臣の要請、北海道知事によ  
る緊急事態宣言などを踏まえ、休校  
期間を春休みまで延長した。

各学校では、家庭学習資料を作成  
し、郵送または家庭訪問により、全  
ての子供たちに届けたほか、電話や  
ファクス、家庭のポストに投函する  
などの方法で、学習へのアドバイス  
も行った。

**③ 長期間の学校閉鎖による子ども  
への影響について**

子供の心身に影響を与えることも  
懸念されるため、教職員が電話など  
で直接声を聞き、子供や家庭の状況  
に応じた個別の対応ができる体制を  
整えている。

さらには、FMはまなすと協力作  
して、各小学校の先生から児童に向け  
たメッセージの放送を開始した。

分散登校の実施に当たっては、感  
染予防の指導を行うとともに、日常  
生活を取り戻すことができるよう工  
夫を進めており、感染予防対策にも  
万全を期して実施している。

持病や既往症により、重症化の可  
能性がある子供を把握し、保護者と  
の連絡を密にしており、休校期間の

終了に向けて対応に努めている。

**④ 学校閉鎖による保護者の負担軽減  
の取り組みについて**

放課後児童クラブを1年生から3  
年生までに限定し、3月5日から再  
開し、安心して利用できるよう工夫  
している。

子供や家族のストレスを軽減する  
アイデアをまとめたメッセージを、  
小中学校の全家庭に配布するほか、  
市のホームページやフェイスブック  
で発信し、不安解消に努めている。

録画映像を  
YouTubeで  
公開しています

代表質問：石黒議員



公明党  
齊 須 正 友

## 地方創生について

### 1期5年の総括と2期目の展望について

【市長】第1期の総括について、人口動態は、転出超過数が2014年の550人から2018年には312人に減少するなど、社会動態の改善が見られており、特に14歳以下の子供と、その親世代に相当する30代での改善が顕著であるが、社会減を2分の1に抑制するという目標には至らず、20代を中心とする若年層の流出に歯どめがかからないという課題も残されている。

自然動態については、全国的にも改善が見られない中、当市においても出生数の減少に伴う自然減の拡大が続いている状況にある。

第2期の策定に当たり、こうした状況を踏まえた中で、本年度の前半6カ月を「徹底的な検証期間」と位置づけ、全庁体制で各施策・事業の

点検作業を進めるとともに、関係部局の中堅・若手職員で構成する「組織横断型課題対策チーム（CFT）」が主体となって、さらに詳細な分析・評価及び次期計画に向けた提案等の取りまとめまでを行ってきた。

性別や年代の属性ごとの人口動態の捕捉や、当市と規模が近い道内都市との比較、市民意識調査の結果に基づく市民の施策満足度と定住意向との関連性の検証、ビッグデータである地域経済分析システム（RESAS）など、これらの分析データも活用し、第2期におけるターゲットの明確化と、各ターゲットの特性に応じた効果的な施策展開に留意したところであり、具体的には、一つは20代の流出に歯どめをかけること、もう一つは、社会動態に改善の見られる子育て世帯の定着に向けたアプローチであると考えている。

20代に向けて、魅力ある雇用の創出や所得向上を図ることや、芸術文化・スポーツの振興によるまちの魅力を高めていくことが効果的であり、子育て世代に対しては、生まれる前からの切れ目ない子育て支援の幅広い展開や、教育環境の充実などに取り組む必要がある。

第2期総合戦略は、このような過

程を経て、第1期の成果等に対する詳細な検証に基づき策定されたものであり、さまざまな施策にバランスよく取り組むとともに、その相乗効果による好循環の拡大を図りながら、「地方創生」の実現に向けて、推進していく。

## 災害に強い

### まちづくりネットワーク

#### ①防災士について

——防災活動支援補助金制度を利用して防災士の資格取得した人数

【市長】住民みずからの手による自主防災活動を支援し、地域における自助・共助の取り組みを推進することを目的として、「防災活動支援補助金」を創設し、防災に関する専門資格を習得した方に対し、受講料全額を補助している。

現在、69名の方が防災士の資格を取得しており、そのうち補助金を活用された方は22名となっている。

#### ②これまでの資格取得者による情報共有やネットワークづくりの取り組み内容について

防災・減災対策を推進していくためには、地域の自主性は必要不可欠

であると考えており、今年度から「防災関係有資格者連絡会議」を開催し、市や町会との情報共有手段や連携体制の構築、有資格者の地域での活動のあり方などについて、課題の洗い出しを行った。

#### ③今後の研修や訓練の方向性

今後の進め方は、全体会議に加え、地域の実情にあわせ地域の課題が共通認識できるよう、避難所を基準に五つ程度のブロックに分け、ブロックごとの意見交換会や防災訓練を行うとともに、専門家を招いての研修会を開催し、有資格者の方の知識の向上を図る。

また、市と町会と有資格者が一体となって地域防災力の向上を図るため、町会役員の方にも会議に参加していただき、地域のネットワークづくりを推進していく。

録画映像を  
YouTubeで  
公開しています



代表質問：齊須議員



日本共産党議員団  
山田 靖 廣

## 市立総合病院の あり方について

### 新市立総合病院建設への影響

① 北海道中央労災病院との協議について

【市長】北海道は、南空知医療圏における課題として、「岩見沢市内における二次救急や重症患者への対応など急性期機能の維持・強化」等を挙げ、「総合病院と北海道中央労災病院では、人口減少下における急性期機能の維持・強化を図るため、機能集約化など再編統合に向けた議論を進めていただきたい」との論点提起を行ったところである。

本圏域における持続可能な地域医療を支えていくための基軸は、当市における急性期及び救急医療体制の確立が重要であることから、地域センター病院である総合病院の機能維持・強化はもとより、急性期医療の中核を担っている北海道中央労災病院や市内医療機関との機能連携のあ

り方がポイントである。

北海道からの論点提起については、相異なる点はなく、将来を見据えた市内の医療提供体制の確保の観点から避けては通れない課題であると考えており、この提起を契機として、北海道と連携を図りながら、北海道中央労災病院、さらには開設主体である独立行政法人労働者健康安全機構と協議を進めていく。

② 新市立総合病院建設の計画における協議の影響について

両病院は共に基幹的な急性期医療を担っていることから、「質の高い急性期医療提供の維持・強化」をコンセプトに掲げ、現在策定作業を進めている新病院の「基本構想」に影響はないが、今後の協議の方向性や内容によっては、「基本計画」の中で検討することとしている新病院の病床規模や整備スケジュール等に影響があるものと考えている。

③ 感染症病床の拡充について

感染症病床は、赤痢やコレラなど伝染病予防法に基づく隔離病棟として整備したが、その後、O-157やエイズなど、これまで知られていなかった感染症の出現による状況の変

化に対応するため、南空知医療圏で唯一、病床数4床を有する第2種感染症指定医療機関として指定を受け、感染症への対応に当たっている。現在の感染症病床は、陰圧室がなく、主に軽症患者の対応に限られていることから、今後、本圏域の感染症対策に必要な設備や病床数等について北海道と協議を行い「基本計画」の中で検討していく。

## 新型コロナウイルス 感染症対策について

### 緊急事態宣言対応について

① 一斉休校の対応及び今後について  
【教育長】教育委員会では、学校での発生予防のため、手洗い、うがい、アルコール消毒の励行やマスクの着用のほか、子供が触れる箇所の定期的な消毒など、一般感染症予防の効果がある対策を校長会議や教頭会議を通じて周知し取り組んできた。

また、2月21日に中富良野町で小学生の感染が確認された際には、臨時の校長会議を開催し、当市の児童生徒や学校関係者に感染者が発生した場合に備えて、具体的な対応策を確認するなど、さまざまなことを想定した対応に努めてきた。

そこで、学校の一斉休校について、教育委員会では、2月26日の北海道知事並びに北海道教育委員会からの要請を受け、児童生徒への感染及び感染拡大を防ぐ観点から、2月27日から3月4日までの7日間を休校にするるとともに、3月2日には、内閣総理大臣の要請、北海道知事による緊急事態宣言などを踏まえて、休校期間を3月15日まで延長することを決定した。その後、道内の感染者の発生状況、3月8日の本市における初めての感染者の発生、北海道知事の会見、翌日開催された政府の専門家会議の見解などを踏まえ、休校期間を春休みまで延長した。

なお、今後の対応について、分散登校も含めて、定期的に児童生徒の状況を把握し、子供たちの学習状況の把握や心身のケアを行うとともに、未履修となった内容に関して、どのように学ばせていくのかを検討し対応していく。

録画映像を  
YouTubeで  
公開しています



代表質問  
山田議員



みどりの会  
河合 清 秀

**岩見沢地域経済・産業発展のために令和4年度に向け岩見沢市を中心とした、食の国際戦略総合特別区域申請の取り組みを**

**①北海道フードコンプレックス国際戦略特区の果たしている役割**

【市長】「北海道をオランダのフードバレーに匹敵する食の研究開発・輸出拠点とする」という目標のもと、独自の食品機能性表示制度の導入や、道産品を用いた商品開発など、食の生産拡大と高付加価値化の実現に向けた取り組みを進めている。

この計画に関連し、「フード&メディカルイノベーション国際拠点（FMI）」は、道内の自治体として唯一参画している「北海道大学COI食と健康の達人拠点」プロジェクトの研究拠点施設であり、各種健康プログラムのサイエンス拠点としての機能など、当市としては直接かつ具体的な恩恵を享受している。

②現北海道フード特区終了後、令和4年度からの食の国際戦略総合特別区域となるための取り組みは、  
——新しい戦略特区を岩見沢市が中心となつてつくり、岩見沢、空知の産業や経済の発展、雇用の拡大を目指してはかがが。

地方創生を実現するために、新しい価値やイノベーションを創出し、成長の可能性を高めることが大切。

そのためには、地域特性を生かした企業誘致など、地域産業・経済全体の競争力の強化が不可欠であり、特に「スマート農業」と「健康経営都市」の取り組みを基礎とした、農・食・健康施策の連動が重要となる。

その取り組みを加速させるため、事業者に対する国の各種支援制度の活用を既に可能としていることや、当市の提言により新たな国の支援制度が創設され、活用するなどの実績を重ねる中で、当市は、特区の認定を受けなくても、企業の取り組みを加速させる手法はあると捉えており、引き続き、農業の振興など地域産業・経済の活性化を進めていく。



日本共産党議員団  
上田 久 司

**教員の変形労働時間制について**

**①教育長の基本的考えについて**

【教育長】教員の働き方改革は、平日の業務負担が軽減されることが重要であり、業務の精選や効率化とともに、サポート体制の充実、教員定数の改善や加配措置の充実も必要であると考えている。

変形労働時間制について、制度を適正に運用することにより、教員のリフレッシュにつながる効果も期待できるものと考えている。

**②道への働きかけについて**

北海道に対して現時点で働きかけをする予定はないが、教員定数の改善や加配措置の充実について、道教委や国に対して要望している。

**③岩見沢市の実態と今後の対応**

——今後のスケジュールについて  
今後、北海道での条例化を受け、本市における関係諸規程を整備した

後、各学校へ制度の運用を周知するなど、準備を進める。

**——残業・年休等の実態について**

教育委員会では、教員の働き方に関する意識改革や勤務時間の実質的な縮減に取り組んでいるが、特定の教員の退勤時間が遅くなる傾向や、繁忙期において、退勤時間が遅くなることを確認している。

勤務時間の把握については、管理職の目視や本人からの報告によって行っているが、出退勤の管理機能を持つ校務支援システムの導入を進め、適切な勤務時間の管理に努める。また、教員の年休の実態は、平成30年の状況で、取得日数では小学校が12・8日、中学校が11・8日、取得率では小学校が34・3%、中学校が30・7%という状況になっている。

**——市教委として導入はすべきでないと考えているが**

平日の業務負担が軽減されること が最優先であり、制度を適正に運用することにより、一定の効果が期待できるものと考えている。

録画映像を  
YouTubeで  
公開しています

一般質問  
河合議員

録画映像を  
YouTubeで  
公開しています

一般質問  
上田議員

## 代表質問、一般質問項目一覧 ※大項目のみ掲載

### 代表質問

#### 市民クラブ 伊澤 幸信 議員

- ①「みんなが健康で元気に暮らせるまちづくり」
- ②「市民とともに創る 持続可能で自立したまちづくり」
- ③「活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまちづくり」
- ④「豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進」

#### 政和会 石黒 武美 議員

- ①地方創生
- ②地域で支え合う 安全・安心なまちづくり
- ③活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまちづくり
- ④自然と調和した 快適で暮らしやすいまちづくり
- ⑤新型コロナウイルス感染症への対応

#### 公明党 斉須 正友 議員

- ①地方創生
- ②災害に強いまちづくり
- ③農業の振興
- ④子どもたちの体力向上

#### 日本共産党議員団 山田 靖廣 議員

- ①人口縮減と少子高齢化

- ②市政運営の基本姿勢
- ③地域で支え合う 安全・安心なまちづくり
- ④雪対策
- ⑤市立総合病院のあり方
- ⑥活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまちづくり
- ⑦豊かな心と生きる力をはぐくむまちづくり
- ⑧市民とともに創る 持続可能で自立したまちづくり
- ⑨新型コロナウイルス感染症対策
- ⑩生涯にわたって主体的に学ぶ環境づくり
- ⑪学校教育の推進
- ⑫育ちと学びを支える教育環境の充実
- ⑬子ども・子育て支援の推進

### 一般質問

#### みどりの会 河合 清秀 議員

- ①岩見沢地域経済・産業発展のために令和4年度に向け 岩見沢市を中心とした、食の国際戦略総合特別区域申請の取り組みを
- ②岩見沢市で高齢者が安心して暮らせるように

#### 日本共産党議員団 上田 久司 議員

- ①ジェンダー平等
- ②教員の変形労働時間制

## 予算審査 特別委員会

一般会計及び特別会計国民健康保険費、病院事業など12会計の令和2年度予算案を含む29議案の審査のため、予算審査特別委員会を設置し、3月17日から3月23日にかけて審査を行い、全ての議案において可決すべきものとされ、本会議において可決されました。

### ○予算審査特別委員会での主な質疑（項目のみ）

◆町会活動促進事業 ◆被災者生活再建システム整備委託料 ◆防災活動支援補助金 ◆防災対策事業 ◆市民連携活動事業 ◆会計年度任用職員 ◆栗沢文化交流施設整備事業 ◆移住定住促進事業 ◆地域おこし推進事業 ◆ICT活用型総合戦略推進事業 ◆保育所入所運営事業 ◆あそびの広場運営事業 ◆教育研究所運営事業 ◆保育・教育人材確保事業 ◆小学校就学援助事業 ◆病院事業会計の収支・経営改善の取り組み ◆美流渡デイ・サービスセンター廃止への経過 ◆社会福祉協議会運営補助事業 ◆民生委員児童委員協議会運営費交付等事業 ◆共生のまちづくり推進事業 ◆保健総務管理事業 ◆健康寿命延伸事業 ◆健康経営都市推進事業 ◆後期高齢者医療費の保険料率の改定 ◆後期高齢者医療費の保険料軽減特例の見直し ◆ごみ減量化推進事業費 ◆機構集積協力補助金事業の活用状況 ◆新規就農・農業後継者育成支援事業 ◆土地基盤整備事業 ◆新規参入支援事業補助金 ◆私有林整備事業補助金 ◆岩見沢市公設卸売市場条例の一部改正 ◆プレミアム付建設券発行支援事業 ◆創業支援事業 ◆中心市街地活性化対策事業 ◆ポルタビル利用促進事業 ◆観光物産振興事業 ◆ふるさと毛陽地域振興事業 ◆創業支援事業 ◆北村温泉施設管理事業 ◆道路占用料 ◆駅周辺施設整備事業 ◆市営住宅の管理 ◆水道料金・給水収益の推移 ◆市民税

# 新型コロナウイルス感染症に対する議会の対応について

当市議会の対応として、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、文部科学大臣に対し下記の意見書を提出し、感染拡大防止と早期終息に向けて取り組むよう強く求めました。

## 新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書（全文）

昨年12月に中華人民共和国湖北省武漢市において発生した新型コロナウイルスによる感染症については、急速な勢いで世界中に拡散し、世界保健機関（WHO）が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言するなど、各国に対し緊急かつ積極的な対応をとるよう求めている。

我が国においても2月25日に、政府が「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を策定し対策を強化しているが、感染の拡大が続いている状況にある。

こうした中、北海道では2月28日に感染流行の早期終息や感染拡大の防止を目的に「新型コロナウイルス緊急事態宣言」を出し、週末の外出自粛要請のほか、大規模イベントの開催自粛、学校の休校などが行われている。

本市では、2月22日に「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を立ち上げ感染拡大を防止し市民の安全安心を守るため、学校の休校、市施設の休止及び休校による保護者の休職等に対する支援などの対策を講じているが、感染拡大の防止に当たっては、広域的な対策が肝要であり、国による強力な対策の推進が不可欠である。

よって本市議会は、国会及び政府において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止及び早期終息を図り、市民の安全安心及び安定した生活を確保するため、下記の事項について全力で取り組むよう強く求める。

### 記

- 1 感染拡大の防止に向け、マスクや消毒用アルコール等の物資を安定的かつ継続的に供給するとともに、感染者の人権への十分な配慮のもと健康管理を行うとともに、自宅療養、隔離、治療について十分な対策を実施し、地域の状況に応じて患者への対応を継続、強化すること。
- 2 患者の増加に備えた入院、治療体制の整備のための支援を行うとともに、窓口相談体制や検査実施などの強化を進めることに加えて、院内感染対策のさらなる徹底や感染制御に必要な物品の確保を図ること。
- 3 観光業や飲食業を初めとする中小企業や小規模事業者・個人事業主等への経済的影響などの状況に鑑み、廃業や倒産を防ぐため、助成金等の財政支援をさらに拡充すること。
- 4 学校の臨時休業に伴う子供たちの心のケアや保護者の休職等に対する支援を実施すること。
- 5 地方公共団体が感染拡大防止の施策を実施するため、その意見を的確に反映しつつ、早期に国の具体的な措置内容と考え方を示すこと。また、必要な財政支援を行うこと。

※令和2年2月21日に開催を予定しておりました「市民との意見交換会」はコロナウイルス感染症の影響により延期となりましたので、開催日が決まりましたら市議会ホームページ等でお知らせいたします。

## 編集後記

広報広聴委員会委員 山田 靖 廣

今回の議会は全世界を揺るがす新型コロナウイルス感染症の影響や対策で通常の議会とは大きく変化しました。全会派・全議員の協議で感染拡大を何としても抑えるために日程や質問時間のやり繰りもしました。3月24日に予算を審議する大切な議会を無事に終えることができました。

市民の皆様には意見交換会の急な延期や傍聴時のマスク着用・消毒などのご協力をいただきました。終息に向けて議会も行政・市民と心ひとつに全力で取り組んでまいります。

〔委員長〕 太田博之      〔副委員長〕 池島和行

〔委員〕 越戸正樹      平野義文      宮下 透      日向清一      猪口満雅  
                山田靖廣      河合清秀

## ホームページ

議員名簿、議会の概要、本会議、委員会などの会議のお知らせ、過去の会議の結果（会議録）などを掲載しています。

## You Tube

本会議の様態をインターネット動画サイトYouTubeにて生中継・録画中継しております。



## 議会を傍聴してみませんか？

本会議と委員会は、どなたでも傍聴することができます。

※団体で傍聴される方は、席の確保の都合上、あらかじめ議会事務局までご連絡をお願いします。

市議会の詳しい情報は、岩見沢市議会のホームページをご覧ください。  
(こちらのQRコードからもご覧になれます。)



岩見沢市議会